

◇◇◇◇◇2019年度 北海道支部 第1回研修会報告◇◇◇◇◇

日時：2019年5月11日（土）14：30～17：30

会場：札幌市生涯学習センター ちえりあ 2階大研修室

テーマ：気になる子どもの発達的特徴の理解と支援の方向性

講師：本郷 一夫 氏（東北大学大学院教育学研究科）

概要：本研修会では、本郷先生をお招きして、障害の確定診断は受けていないものの、適応に困難を抱えている子ども、いわゆる「気になる」子どもに焦点を当ててお話していただきました。初めに発達障害の可能性のある児童生徒が、義務教育段階1000万人の中で100万人いるという文部科学省の調査結果について述べられました。その中の「気になる」子ども35万人のもつ3つの困難さ（行動・場面・保護者）や行動特徴、位置付けなどを説明していただきました。また、自閉症スペクトラム障害など代表的な発達障害の定義と特徴、気になる子どもへの支援のポイントや子どもを理解する上で行動の原因を推測することの大切さが述べられました。後半は実際の保育場面での工夫について支援に役立つ例を示していただくところからスタートしました。具体的には、朝の集まり場面やルール遊び場面（勝敗のある遊び：いすとりゲームのチーム対抗戦やしっぽ取りの洗濯ばさみの利用、勝敗のない遊び：ストップゲームなど）での工夫など、明日から生かせる内容が盛りだくさんでした。最後に「気になる」子どもの保護者支援の原則や発達アセスメントの後にどう支援計画を立てるかということの大切さが示され、次の日のグループワークにつながるお話をいただきました。参加者は83名 [うち一般参加5名] でした。（文責 石川和男）

◇◇◇◇◇2019年度 北海道支部 第2回研修会報告◇◇◇◇◇

日時：2019年5月12日（日）9：30～12：30

会場：札幌市生涯学習センター ちえりあ 2階大研修室

テーマ：気になる子どもの発達アセスメントと支援計画の立案

講師：本郷 一夫 氏（東北大学大学院教育学研究科）

概要：前日の第1回研修会に引き続き本郷先生の講義をお聞きし、後半はグループワークを行い研修を深めました。初めに、巡回相談は午前中は行動観察、午後はカンファレンスを行なうというスケジュールで行なっていることや、ビデオを使ったカンファレンスを行うために保護者に撮影許可を求めるための掲示物を紹介していただき、大変参考になりました。前半の講義の内容は①「気になる」子どもの行動チェックリストを用いた行動特徴の把握、②社会性発達チェックリスト（改訂版）を用いた発達的特徴の把握、③複数の場面における行動観察結果の比較による「気になる」子どもの特徴と環境との関係による把握についてでした。後半は5～6人ずつ13のグループに分かれ「落ち着きのない4歳男児の事例」について、保育目標に基づいた「対象児をめぐる支援」について協議を行いました。支援の観点は①対象児に対する対応、②クラス集団への対応、③園内・校内環境への整備、④保育・教育体制の整備、⑤保護者との連携の5つでした。活発な協議が行われ、3つのグループからの発表がありました。最後に発表に対する本郷先生からのアドバイスと、子どもの社会性の発達の観点が示されました。参加者は80名 [うち一般参加5名] でした。（文責 石川和男）

《2019年度 北海道支部 第3回研修会のご案内》

※ 第3回研修会は資格をもたない方も参加できます。申し込みは不要です。

日付：2019年11月30日（土）

時間：13:30～16:30（受付13:15～）

会場：札幌生涯学習総合センター ちえりあ 2階大研修室
テーマ：自閉症スペクトラム障害の療育と保護者支援について考える
講師：齊藤真善先生（北海道教育大学 札幌校）
資料代：会員500円 非会員1000円
ポイント数：1.0

概要：自閉症スペクトラム障害（ASD）の療育について最も重要なことは、できるだけ早い時期に「モノ（道具的相互作用）」よりも「ヒト（心理的相互作用）」に、関心・興味が向けられることだと考えています。当日は「随伴性」を、共同・共同行為への発達のスタートと仮説し、「モノ」から「ヒト」の世界へ、つまり完全な随伴性の世界から、不完全な随伴性の世界への移行を促進するために、療育者・保護者がどのように関わるべきか、事例や実験的研究結果をもとに、私の考えを述べたいと思います。

— 研修会参加に関する注意事項 —

- 1) 士会会費未納者（過年度未納を含む）の参加は認められません。
- 2) バーコード付きIDカードで本人確認とポイント発行を行いますので忘れずにご持参下さい。
- 3) 当日にIDカードを忘れた場合は、ポイントを発行できません。
- 4) 研修会開始10分以上の遅刻、途中退席、早退の場合にはポイントを発行できません。
- 5) 当日会場が満席になった場合は、聴講をお断りさせていただく場合もございますので、ご了承ください。なお、会場は90名弱の席を予定しております。

— 参加記録ノートについて（2016年度以前の資格取得者対象） —

- 1) 士会事務局からの案内（郵送物、ホームページ等）をよくご覧のうえ、各自ご対応ください。
- 2) 士会ホームページ上に「【重要】臨床発達心理士資格更新ポイント管理の移行について」が掲載されています。
- 3) 2016年度以前に「参加記録ノート」に貯めていたポイントは、各自でSOLTIシステムに登録する必要があります。
- 4) SOLTIへのポイント登録後も「参加記録ノート」は必ず保管しておいてください。

《北海道支部メーリングリスト終了のお知らせ》

6月6日にメールでお知らせしたとおり、12月2日をもって現在の運用会社(freeml)による「北海道支部会員メーリングリスト(以下ML)」が終了となります。6月末までに支部会員の皆様よりご意見を賜ったうえで、北海道支部役員会で検討したところ、皆様には大変申し訳ありませんが、現在のMLの終了にあわせて、支部会員間のML自体を終了することにいたしました。

北海道支部MLは、北海道支部会員間の連絡と情報交流を目的として運用してまいりました。しかしながら、現在は支部事務局から支部会員の皆様にメールを一斉送信できる環境が整ったことや、150名近い支部会員のアドレスや配信管理のために多大な労力が必要であること、支部会員の全員がMLに加入しているわけではないこと、昨年度のML使用件数が25件程度であったことなどを踏まえ、ML自体の終了という判断に至りました。

つきましては、12月以降は次の通り対応させていただきますので、ご承知置きください。

- ・現時点では、北海道支部としての新たなMLの提供は行いません。
- ・北海道支部会員に周知したい情報(研修会情報や職員募集など)がある場合は、北海道支部事務局(cdp.hokkaido@gmail.com)に送信依頼を行ってください。数日中にSOLTIによる一斉送信で、北海道支部会員に送信します。

この件につきまして、ご質問等がありましたら支部事務(cdp.hokkaido@gmail.com)までお問い合わせください。何卒、ご理解を賜りますよう、よろしく願いいたします。